



# かわにし

精華町立川西小学校

検索

学校だよりはHPで  
カラーで見れます

めざす児童像

よく学び 心豊かで 元気な子

精華町立川西小学校 学校だより

令和7年4月8日 4月号

## 出会いつながり大切に！ 令和7年度スタート！

… 校長 竹花 真治 …



各地の桜も満開となり、自然の力強い息吹と生命力が感じられる季節を迎えました。

今日は始業式、学校に子ども達の元気な挨拶の聲が響きわたりました。明日には入学式を挙行し、新たに72名の新入児童を迎え、全校児童434名、教職員総勢40名で、令和7年度のスタートを切ります。

本年度も、本校で校長をさせていただき、竹花真治と申します。保護者の皆様、地域の皆様と連携を大切にしながら、学校全体の教育力を高め、一人一人の子ども達を伸ばしていくために、精一杯努力する所存です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

私の好きな詩の中に、明治に生まれ、大正末期に優れた作品を発表し、昭和になるやいなや、26歳の若さで世を去った童謡詩人、金子みすゞさんの詩に「私と小鳥と鈴と」があります。

わたしが両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、  
飛べる小鳥は私のやうに、地面(ちべた)を速くは走れない。  
私がかからだをゆすつても、きれいな音は出ないけど、  
あの鳴る鈴は私のやうに、たくさんな唄は知らないよ。  
鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。

子どもには、能力・性格・行動傾向をはじめ、人としての様々な要素において、一人一人、それぞれに持ち味があるものです。それが、「個性」です。

『「鈴」にも「小鳥」にも「私」にも、それぞれ違った持ち味がある、それでいいよ』と、金子みすゞさんの詩は教えてくれます。

子どもの個性を見出し、一人一人をかけがえない存在として認識し、誰もが、子ども達に、愛情をもって接していくことが大切です。



そこで、新年度のスタートにあたり、学校教育目標を達成すべく、教育活動を進めていくうえで、職員全体で以下2点等の、共通理解を図りました。

- 1 子ども達を、教職員全員で、愛情や信頼・期待感などで包み込み、安心感(包み込まれる雰囲気)の中で力を発揮させていくこと！
- 2 子どもたち、一人一人の頑張りを褒め・認め、「今日は有意義で楽しかった。明日も元気で学校に行きたい。明日の勉強や行事が楽しみだ！」と、子ども達が主体的に学びに向かうよう、魅力的な授業・行事を創造していくこと！

そのためには、昨年度に引き続き、私たち教職員が、まずは多くの子ども達とつながっていく必要があると考えます。学級担任をしても、クラスを超え、学年の子ども達ともつながり、クラブ・委員会・登校班の担当の子ども達ともつながるなど、多くの目で、子どもたちの成長を見つめ、伸ばしていきたいと考えています。

併せて、保護者・地域の方々との「つながり」を大切にしながら、川西小学校区全体が、子どもたちにとってさらに「包み込まれているという感覚」が持てる地域になるよう、皆様の協力を、お願いする次第です。

いよいよ令和7年度のスタートです。子ども達との新しい出会い・つながりを大切にしながら、本年度も教職員一同、一丸となって魅力ある学校づくりに精励いたします。

保護者・地域の皆様の積極的なご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。



## 新年度、まずは目標を持って！

本日の始業式で、「新年度のスタート。1年後の【なりたい自分】をしっかりと描き、そのためにはどうすればよいのか、しっかりと目標を考えましょう！」と、子どもたちに話しました。子ども達が描いた「なりたい自分」に向け、しっかりと支援していきたいと考えます。まずは今週、1学期の目標を具体的に考えることから始めます！

私達教職員も夢(目標)を持ち、1年後の子どもや学級・学年・学校の姿を描きつつ、子どもと共に伸びていきたいと考えます。



## ～ あいさつは 目を見て 先に！ ～

始業式では、さらに「あいさつ」の話をしました。人とつながる第一歩は挨拶だと思っています。

毎朝、正門で子ども達と交わす挨拶の時間は、本当に楽しいです。必ず目を見て先に挨拶する子もいたり、「今日は声が出てなかったなあ…どうしたんだろう…」と思う子もいたり、朝に子ども達はいろいろな姿を見せてくれます。

川西小の全員が、目を見て先に挨拶できる習慣を身に付け、教師や友達だけでなく、登下校時、見守り活動が続けられる地域の方々にも挨拶して、様々な方と、つながってってもらいたいものです。

どうぞ、朝、町で子ども達に出会ったら、元気なあいさつを交わしてください。ご協力、よろしくお願いいたします。

